

## [009]九州帝國大學農學部付屬演習林付近の地質

木下, 龜城  
九州帝国大学工学部

瀧本, 清  
九州帝国大学工学部

木下, 龜城  
九州帝国大学工学部

瀧本, 清  
九州帝国大学工学部

<https://doi.org/10.15017/14212>

---

出版情報 : 九州帝国大学農学部演習林報告. 9, pp.1-71, 1936-07-15. 九州大学農学部附属演習林  
バージョン :  
権利関係 :

教授によつて分析せるにその結果別表の如し。

即ち分析せるもの二十一個のうち十七個は燃料比一・〇以上一・八以下にして低度瀝青炭に屬し、四個は燃料比一・〇以下にして、而かも概して光澤なき黑色を呈し黒褐炭に類す。

## 第 六 章 結 論

1. 三郡山塊は一の高原なり。
2. 本高原は一の準平原の上昇したるものにして其の後の地塊運動と浸蝕作用により再び壯年期の地貌を呈するに至れり。
3. 本高原の西側には段階地によつて縁られたる低夷なる丘陵地發達す。
4. 三郡山塊は古き地質を有し、角閃岩類・古期水成岩類及び火成岩類の三者よりなり、其の西側の丘陵地は第三紀以後の若き岩石よりなる。
5. 本地域に於ける地史の大要次の如し。
  - A. 古期變成岩の成生時代
    - a. 鹽基性凝灰岩の堆積＝新建系の角閃岩により代表せらる。
    - b. 火山性噴出物の堆積（主として熔岩流及び火山灰）＝鳴淵系の角閃岩をもつて代表せらる。
    - c. 海成層の沈澱＝鳴淵系上部の珪岩・石灰岩等に代表せらる。
  - B. 第一次地質變動時代
    - d. 陣ヶ田尾斷層等の成生
    - e. 橄欖岩類の進入
    - f. 火成角閃岩類の進入
    - g. 花崗岩類の進入
  - C. 平穩侵蝕削磨時代
    - h. 準平原の成生
  - D. 第二次地質變動時代

高 田 礦 業 所

(福岡縣糟屋郡勢門村)

厚 (種)	特 性	工業分析 (100,00)				灰 ノ 色	粘 結 状 態	發 熱 量 カ ロ リ	乾 燥 石 炭				無 灰 石 炭				純 炭			燃 料 比	
		水分	灰分	揮發分	固定炭素				灰分	揮發分	固定炭素	發熱量	水分	揮發分	固定炭素	發熱量	揮發分	固定炭素	發熱量		
		%	%	%	%			カ ロ リ	%	%	%	カ ロ リ	%	%	%	カ ロ リ	%	%	カ ロ リ		
高田第二坑(地表下二三五米) 二組炭層	15 9 15 18 40 1 27 5.5 23.5 31.5 46.5	(a) 金屬光澤ヲ呈シ、亞介殼狀斷口ヲ示シ、質硬キモノ。 (b) 光澤鈍クシテ質極メテ硬ク破片稜角ニ富ミ縞狀構造不明瞭ノモノ。 (a) 金屬光澤ヲ呈シ構造鱗狀ヲ表ハシ、方解石ノ薄層縱走節理ニ夥多、質稍々脆弱ナルモノ。 (b) 光澤強クシテ質硬ク方解石ノ薄層僅ニ縱走節理ニ介在スルモノ。 (a) 鱗狀型、方解石縱走節理ニ沿ヒテ夥多ナルモノ。 (b) 光澤強ク質稍々硬ク方解石ニ乏シキモノ。 (c) 光澤鈍ク質極メテ硬ク亞介殼狀斷口ヲ示スモノ。  金屬光澤ヲ呈シ屢々亞介殼狀ニ割レ方解石ノ薄層僅カニ存在スルモノ。	2.56 1.71 2.96 2.70 2.74 2.26 1.70  2.66	6.42 21.21 5.50 4.95 7.93 9.30 21.15  5.96	44.17 43.52 40.61 43.36 40.11 42.48 41.03  41.97	46.85 33.56 50.93 48.99 49.22 45.96 36.12  49.41	紅褐 褐 紅褐 同 紅紫 褐 同  褐	同 同 同 同 同 同 同  同	7600 6550 7502 7707 7253 7389 6514  7582	6.59 21.58 5.66 5.09 8.15 9.52 21.52  6.12	45.33 44.28 41.85 44.56 41.24 43.46 41.74  43.12	48.08 34.14 52.49 50.34 50.61 47.02 36.74  50.76	7799 6664 7731 7921 7458 7560 6626  7789	2.74 2.17 3.13 2.84 2.98 2.49 2.16  2.83	47.09 55.24 42.97 45.62 43.56 46.83 52.04  44.63	50.17 42.59 53.90 51.54 53.46 50.68 45.80  52.54	8121 8314 7939 8108 7878 8147 8261  8062	48.53 56.46 44.36 47.66 44.90 48.03 53.18  45.93	51.47 43.54 55.64 52.94 55.10 51.97 46.82  54.07	8349 8498 8195 8345 8120 8355 8442  8297	1.061 0.771 1.254 1.130 1.227 1.082 0.880  1.177
高田第二坑(地表下一九八米) 切土炭層	約39m 33 21 27 9 9 45 6 44 14 15 2.5 28.5	(a) 亞金屬光澤ヲ呈シ、不規則ニ割レ縞狀構造不明瞭ノモノ。 (b) 微細ナル縞狀構造僅カニ認メラレ屢々亞介殼狀ニ割レ質極メテ硬キモノ。  縞狀構造顯著ニシテ光澤鈍ク、質堅緻ニシテ方解石等ノ不純礦物認メラザルモノ。 亞金屬光澤ヲ呈シ、不規則ニ割レ方解石ノ薄層僅カニ縱走節理ニ介在スルモノ。	2.59 2.82 2.64 2.44	8.02 17.04 24.97 7.75	40.89 37.87 36.34 43.00	48.50 42.27 36.05 46.81	紅褐 淡黃 淡灰 褐	同 凝結 同 堅ク粘結	7361 6504 5884 7382	8.23 17.53 25.65 7.94	41.98 38.97 37.32 44.08	49.79 56.50 35.38 47.98	7557 6693 6044 7567	2.82 3.40 3.52 2.65	44.46 45.65 48.43 46.60	52.72 50.95 48.05 50.75	8003 7840 7843 8002	45.74 47.24 50.20 47.88	54.26 52.76 49.80 52.12	8235 8116 8129 8220	1.186 1.116 0.992 1.089
久原第三坑(地表二二九米) 本組	約180m 6 6 10 6 15 6 16.5 23 6 3.6 7 16.5 60	塊炭ハ斜走節理ノタメ斜方六面體ニ割レル傾アリ、此ノ中 (a) 金屬光澤ヲ呈シ、断面平坦ナラズ屢々同心圓ノ木理模様ヲ表ハスモノ。 (b) 光澤鈍クシテ質硬ク微細ナル縞狀ヲ示スモノ。 縱走節理稍々發達シ板狀ニ割レ易シ、コノ中 (a) 光澤強ク僅カニ縞狀ヲ呈シ少量ノ方解石ヲ認ムルモノ。 (b) 光澤鈍ク質頗ル硬クシテ屢々亞介殼狀ニ割レ微細ナル縞狀顯著ニ認メラルモノ。 光澤鈍ク微細ナル縞狀ノ構造ヲ呈シ、厚サ 2-4 m.m. ノ輝炭ノ帶ヲ介有スルモノ。 縱走節理稍々發達シ柱狀ニ割レ易ク縞狀稍々顯著ナルモノ。 (a) 金屬光澤ヲ呈シ質脆弱ニシテ断面粗糙ナルモノ。 (b) 光澤鈍ク硬質ニシテ微細ナル縞狀構造ヲ呈スルモノ。 (c) (a) 及ビ (b) ノ混合。	3.51 2.47 2.60 2.43 2.42 2.49 3.00 1.99 2.65	5.23 18.76 7.95 18.49 22.67 8.98 6.52 29.57 16.59	35.52 37.57 39.46 37.37 33.61 39.29 38.02 34.44 36.45	55.74 41.20 49.99 41.71 41.30 49.24 52.46 34.00 44.31	紅褐 淡黃 紅褐 淡灰 同 淡褐 褐 灰 同	僅ニ粘結 堅ク粘結 同 同 僅ニ粘結 堅ク粘結 同 僅ニ粘結 堅ク粘結	7438 6449 7374 6506 6086 7274 7457 5583 6656	5.42 19.23 8.16 18.95 23.23 9.21 6.72 30.17 17.04	36.81 38.61 40.61 38.30 34.44 40.29 39.20 35.14 37.44	57.77 42.15 51.23 42.75 42.33 50.50 54.08 34.69 45.52	7709 6612 7570 6668 6237 7460 7687 5696 6837	3.70 3.04 2.82 2.98 3.13 2.74 3.21 2.83 3.18	37.40 46.25 42.87 45.85 43.46 43.17 40.67 48.90 43.70	58.81 50.71 54.31 51.17 53.41 54.09 56.12 48.27 53.12	7849 7938 8011 7981 7871 7992 7977 7927 7979	38.92 47.70 43.90 47.26 44.87 44.38 42.02 50.32 45.13	61.08 52.30 56.10 52.74 55.13 55.62 57.98 49.68 54.87	8150 8187 8243 8227 8125 8217 8241 8158 8241	1.569 1.097 1.267 1.116 1.229 1.253 1.380 0.987 1.216

(イ) …… 砂質頁岩

- i. 三郡山塊の隆起並に斷層に依る地塊の分裂
  - E. 第三紀層堆積時代
    - j. 海水の浸陸 Transgression 及び第三紀層の堆積
    - k. 陸地の上昇
- } 第三紀
- F. 第三次地質小變動時代
    - l. 斷層による地體の分裂
    - m. 第三紀層の傾斜及び削磨
  - G. 第四紀層の堆積
    - n. 河成段階の成生
    - o. 陸面の侵蝕
    - p. 沖積層の形成
- } 第四紀

以 上